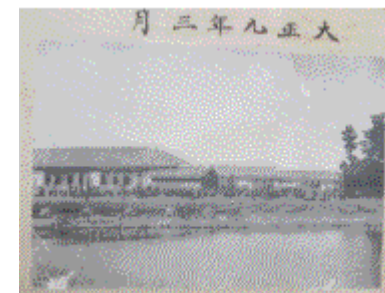
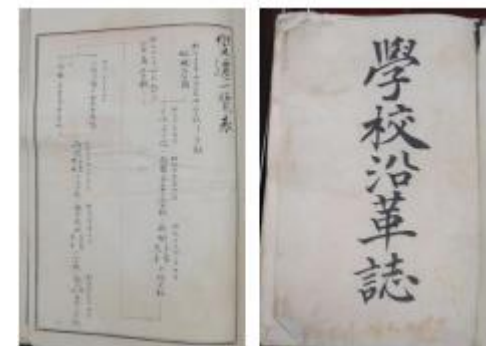


栄南小学校沿革史

- 1873 (明治 6) 年 義校発足
- 1874 (明治 7) 年 啓蒙学校と名を変える
- 1877 (明治10) 年 唐崎学校・芝居学校 (後の大藤小学校) ・稲地学校に分離する
- 1880 (明治13) 年 富島学校と稲地学校が合併する
- 1887 (明治20) 年 富島学校を三好新田に移し、稲地学校と合併し、尋常小学三好学校と称す
伊藤徳次郎氏裏屋敷を借りて教場とした
児童数は200名前後であった (これが栄南小学校の産声である)
- 1892 (明治25) 年 両国尋常小学校と称す
- 1893 (明治26) 年 校地を狐地新田 (現在地) と定め、校舎建築に着手する 9月1日に竣工し、移転する
- 1901 (明治34) 年 児童数の増加により廊下を教室に充当する
操出に民家を借りて分教場とし、1・2年生の授業を行うとともに、高等科を設置する
- 1905 (明治38) 年 1年生93名、2年生58名、3年生37名、4年生45名、
高等科1年生16名、2年生6名の全255名の児童数となる
- 1906 (明治39) 年 操出分教場を廃して、全員が本校に通学する
- 1907 (明治40) 年 大藤村と両国村が合併し、鍋田村となり、鍋田村南部尋常高等小学校と改称する
- 1909 (明治42) 年 小学校尋常科4年が6年に延長となり、教室不足が一層深刻となる
- 1911 (明治44) 年 高等科を移し、鍋田村南部尋常小学校と改称するが、それでも6年生は村議事室で授業を行う
- 1912 (大正 元) 年 9月に大暴風雨があり、38年建築の校舎は全壊する
26年建築の校舎は半壊し、各所の新田の堤が切れて一面海原になった
- 1915 (大正 4) 年 教室や給食室などを増築し、児童数は380名となった
- 1921 (大正10) 年 職員室や音楽室などを増築する
- 1933 (昭和 8) 年 高等科を併置し、校名を鍋田村南部尋常高等小学校と改称する
- 1938 (昭和13) 年 さらに校地を拡張し、2教室を増築する
- 1941 (昭和16) 年 国民学校令施行により、海部郡鍋田村南部国民学校と改称する
- 1942 (昭和17) 年 鍋田村立南部小学校と改称する
- 1944 (昭和19) 年 12月7日午後1時半、昭和東南海地震が起き、玄関が倒壊して北校舎が傾き、
東の2教室は倒壊寸前となる
- 1947 (昭和22) 年 鍋田村立南部小学校と改称する
地震被害の校舎の工事に着手するも極度の資材不足で完全にはできなかった
農繁休業が始まる (6月4日~30日、11月10日~16日)
- 1948 (昭和23) 年 6年生が3月に名古屋へ卒業旅行に出かける
- 1949 (昭和24) 年 6年生の修学旅行が始まる (奈良・伊勢)
- 1955 (昭和30) 年 町村合併により鍋田村と弥富町を合併し、校名を弥富町立鍋田南部小学校と改称する
明治26年より多くの村民を育てた北校舎を取り壊し、2階建ての校舎を新築し、竣工式を行う
- 1958 (昭和33) 年 弥富町立栄南小学校と改称し、ますます栄えるよう祈念する**
- 1959 (昭和34) 年 9月26日に伊勢湾台風が上陸し、突然襲来した高潮のために校区の海岸堤はずたずたに決壊し、
浸入した海水が家屋敷を押し流して多くの人命を奪った。本校も29名の尊い命が奪われ、校舎
は中身がほとんど流出し、1m余りの水は3か月も引かなかった。12月2日より授業を再開する
- 1960 (昭和35) 年 南校舎を取り壊して鉄筋校舎を建設し、竣工式を行う
- 1962 (昭和37) 年 プール竣工式を行い8月13日にプール開きを行う 3月に校歌発表会を行う 名四国道が開通する
- 1963 (昭和38) 年 西末広の殉難の碑の除幕式を行う
- 1966 (昭和41) 年 禽舎を建設する
- 1967 (昭和42) 年 FBC (フラワーブラボーコンクール) に応募を始め、この年優良校として表彰される



大正9年の頃の校舎



伊勢湾台風で被害が出た校舎

- 1969 (昭和44)年 北校舎の北側にあり、校舎からも釣りができて釣り人の楽しみだった狐地川を埋め立てる
- 1971 (昭和46)年 鉄筋校舎を建築する 親子会校内キャンプが始まる (～51年まで)
- 1973 (昭和48)年 操出に歩道橋ができる
- 1974 (昭和49)年 体育館ができる 栄南小学校運動場にて栄南学区春季体育祭が始まる
- 1977 (昭和52)年 校外キャンプが始まり、6年生が朝明に出かける
- 1978 (昭和53)年 木造2階建て校舎を取り壊し、鉄筋校舎に建て替え、桜小学校と合同竣工式を行う
- 1981 (昭和56)年 5・6年生がキャンプに出かける 餅つき大会が始まる 新しいプールができ、9月7日にプール開きを行う
- 1982 (昭和57)年 5年生が朝明にキャンプに出かける 校内マラソン大会が始まる
- 1988 (昭和63)年 5年生が愛知県野外教育センターにキャンプに出かける
- 1989 (平成元)年 1月7日より元号が「平成」となる 文部省指定「体力づくり」中間発表会を行う 操出百年記念碑ができる
- 1990 (平成2)年 文部省指定「体力づくり推進校」研究発表会を行い、愛知県教育委員会から体力づくり優良校顕彰を受ける 操出百年記念碑ができる
- 1995 (平成5)年 全国学校体育連盟より「体力づくり」で表彰される
- 1996 (平成6)年 国体炬火リレーに児童32名参加し、なぎなた競技大会が弥富町で開催される
 禽舎を新設する
- 1997 (平成7)年 町なぎなた大会に参加を始める ごみO運動が始まり、児童が下校時に通学路を清掃して帰る
- 1998 (平成8)年 プールに温水シャワーを設置する
- 1999 (平成9)年 4・5年生が奈良県曽爾村にキャンプに出かける 休耕田にヒマワリの苗を植える
 6年生が模造紙に実物大の奈良の大仏を描き、校舎に掲示する
- 2000 (平成12)年 東館を建設し、起工式を行う 総合学習の一環で5年生が近くの水田で田植え体験を行う
- 2001 (平成13)年 夜の星空観望会が行われ、児童が月や土星などを観察する
- 2002 (平成14)年 4・5年生が若狭湾少年自然の家にキャンプに出かける
- 2003 (平成15)年 4・5年生が奈良県曽爾高原に野外活動に出かける
- 2005 (平成17)年 「自分づくり・仲間づくり」推進事業の委嘱を受け、いろいろな体験活動を発表する
 愛地球博を全校児童が見学する 4・5年生が熊野少年自然の家に野外活動に出かける
- 2006 (平成18)年 弥富町と十四山村が合併し弥富市となる
- 2009 (平成21)年 「地域に働きかける学校づくり推進事業」の委嘱を受け、各学年がふれあい発表会を行う
 栄南学区見守り隊「ひまわり」が発足する 体育館の耐震工事が行われる
- 2010 (平成22)年 「世代間交流交通安全活動推進事業」の委嘱を受け、交通安全の取組を行う
- 2015 (平成27)年 阿南町との交流で、5年生が野外活動に出かける
- 2016 (平成28)年 野外活動で美浜に出かける 「美浜」と「旭高原」を交互に野外活動となった
- 2017 (平成29)年 運動会に全校で「栄南ソーラン」を踊った
- 2018 (平成30)年 運動会を春に開催する タブレットPCが40台導入され、タブレットPC教室を作る
- 2019 (平成31・令和元)年 5月1日より元号が「令和」となる 栄南コミと合同運動会開催
- 2020 (令和2)年 新型コロナウイルスの蔓延により3月1日から5月31日まで臨時休校となる 修学旅行、野外活動が日帰りとなる 運動会が半日開催となる。
- 2021 (令和3)年 愛知県より「健康推進表彰校」の委託を受け、令和6年度までの4年間の研究を行う
- 2022 (令和4)年 3年ぶりに宿泊での野外活動が復活した 水泳の授業が復活した 「愛知県健康推進学校特別優秀校」の表彰を受ける
- 2023 (令和5)年 5月新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、通常の学校教育活動が戻った 「全国健康づくり推進学校優良校」の表彰を受ける
- 2024 (令和6)年 上級教育カウンセラー曾山和彦博士の指導を仰いで、関わりの力を育む「スリンプルプログラム」に取り組み、「にっこりんタイム」を立ち上げた。
- 2025 (令和7)年 「にっこりんタイム」を推進し、「学び合う」を合い言葉に話し合い活動を多く取り入れた授業研究に取り組む。



道路南側にあったプール



「体力づくり」で文科省表彰